

平成28年度 当初予算主要事業

(目 次)

	頁
(総務関係)	
議 会 事 務 局	1
危 機 管 理 室	2
企 画 総 務 局	4
市 民 局	12
(厚生関係)	
健 康 福 祉 局	32
こ ども 未 来 局	63
(経済観光環境関係)	
環 境 局	76
経 済 観 光 局	83
(建設関係)	
都 市 整 備 局	104
道 路 交 通 局	122
(消防上下水道関係)	
下 水 道 局	140
消 防 局	145
水 道 局	150
(文教関係)	
教 育 委 員 会	152

財政局財政課

総務関係
(議会事務局)

事業名	事業費	説明
国際交流	292万4千円 財源内訳 〔一般財源 292万4千円〕	重慶市友好都市提携30周年記念事業 219万9千円 代表団の派遣 135万4千円 時 期 28年8月 人 員 3人 代表団の受入れ 84万5千円 時 期 28年10月 人 員 30人 大邱広域市との交流推進事業 72万5千円 代表団の派遣 時 期 28年7月 人 員 3人
海外視察	3,120万円 財源内訳 〔一般財源 3,120万円〕	海外地方自治行政視察 人 員 39人 支給限度額 80万円／人

(危機管理室)

事業名	事業費	説明
防災まちづくり事業	2,555万1千円 財源内訳 [基金繰入金 2,555万1千円]	防災まちづくり基金を活用して、防災まちづくりの推進を図るための事業を実施する。 わがまち防災マップの作成支援 1,997万1千円 自主防災組織にアドバイザーを派遣し、区役所や消防署等との連携のもと、地域の避難場所や避難ルート上の危険情報等を記載したわがまち防災マップの作成を支援する。 28年度 362地区 地域の防災リーダーの養成等 558万円 (事業内容) ①防災士の資格取得に必要な研修講座を実施して、地域の防災リーダーを養成する。 ②資格取得者のフォローアップ研修を行う。 ③市民の防災知識向上のための講演会等を開催する。
防災情報共有システムの構築	2億6,535万9千円 財源内訳 [市債 2億6,220万円 一般財源 315万9千円]	災害時の被害情報・雨量等各種防災情報の収集・共有機能、避難勧告等の支援機能、市民への情報提供機能等を備えた防災情報共有システムを構築する。 (スケジュール) 27年度 システムの実施設計、構築 28年度 システムの構築、他システムとの連携、運用開始

事業名	事業費	説明
防災情報伝達体制の強化	6億1,561万9千円 財源内訳 〔 市債 6億1,430万円 〕 〔 一般財源 131万9千円 〕	サイレンの機能強化 5億44万1千円 住民への避難情報の伝達をよりの確に行うため、防災行政無線を利用した遠隔操作や屋外スピーカの併設などサイレンの機能強化を図るための整備を行う。 (スケジュール) 26・27年度 電波伝搬調査、実施設計 28年度 整備 防災行政無線屋内受信機の増設 1億1,517万8千円 新たに、避難行動要支援者（聴覚障害者を除く。）のいる世帯のうち、土砂災害危険箇所等に居住する世帯を対象として、避難行動要支援者宅等に防災行政無線の屋内受信機を整備する。
防災行政無線（固定系）の更新整備	135万3千円 財源内訳 〔 一般財源 135万3千円 〕	市の防災関係部局間における情報伝達網である防災行政無線（固定系）について、機器の老朽化等に対応するための更新整備を行う。 (スケジュール) 28年度 電波伝搬調査等 29年度 基本設計等 30年度 実施設計 31・32年度 機器製作・設置 33年度 運用開始

(企画総務局)

事業名	事業費	説明						
庁舎等整備	4,401万3千円 財源内訳 〔市債 3,470万円〕 〔一般財源 931万3千円〕	議会棟の耐震化 1,050万円 (スケジュール) 26・27年度 耐震診断等 28年度 実施設計 29・30年度 工事 沼田出張所建替え 3,351万3千円 (沼田公民館、沼田老人いこいの家と合築) 場 所 安佐南区伴東七丁目 (スケジュール) 26・27年度 基本設計、実施設計等 28年度 建設工事等 29年度 建設工事 (債務負担行為の設定) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>期 間</th><th>限 度 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安佐南区役所沼田出張所建替え</td><td>29年度</td><td>3億7,360万円</td></tr> </tbody> </table>	事業名	期 間	限 度 額	安佐南区役所沼田出張所建替え	29年度	3億7,360万円
事業名	期 間	限 度 額						
安佐南区役所沼田出張所建替え	29年度	3億7,360万円						
区役所機能の強化	400万円 財源内訳 〔一般財源 400万円〕	区政運営調整費 市民のニーズを踏まえ、緊急に実施する必要が生じた事業について、迅速かつ柔軟に対応できる予算(各区50万円)を措置する。						

事業名	事業費	説明
被爆70年史編修発行事業の実施	1,888万5千円 財源内訳 〔 一般財源 1,888万5千円 〕	高齢化の著しい被爆者や復興関係者の貴重な証言を後世へ伝承するとともに、未来を担う若い世代に広島歴史や被爆の実相を伝えるため、被爆70年史の編修・発行を行う。 (被爆70年史の概要) 基本テーマ 都市と市民生活（市制施行から現代まで） 発行部数 5,000部 (スケジュール) 26・27年度 編修内容検討、国内外資料調査・収集 28年度 国内資料調査・収集、原稿執筆 29年度 発行
ふるさと納税特産品贈呈事業	177万円 財源内訳 〔 一般財源 177万円 〕	寄附への謝意を表すとともに、広島ならではの特産品の知名度を向上させ、本市のイメージアップを図るため、1万円以上の寄附をした国内在住の個人に対し、本市の特産品を贈呈する。 贈呈品 ザ・広島ブランド認定特産品及びひろしまグッドデザイン賞受賞商品から選定

事業名	事業費	説明
G 7 広島外相会合の開催支援	750万円 財源内訳 〔 一般財源 750万円 〕	本年4月に本市で開催されるG 7 広島外相会合にあわせ、広島県及び地元経済界等と連携して、会合参加者に被爆の実相を伝えるとともに、広島の魅力国内外に発信するための取組などを行う。 2016年G 7 広島外相会合支援推進協議会への負担金 事業費 1,500万円 〔 (負担区分) 広島市 750万円 広島県 750万円 〕
広島の拠点性強化に向けた検討	133万4千円 財源内訳 〔 一般財源 133万4千円 〕	経済団体、大学、行政で構成する懇話会での意見交換を通じて、広島の拠点性強化に向けた検討を行う。
広島広域都市圏における連携・交流の推進	710万5千円 財源内訳 〔 一般財源 710万5千円 〕	広島広域都市圏内市町との連携・交流を推進するための事業を実施する。 広島広域都市圏協議会事業 217万6千円 様々な媒体等を活用した圏域情報の発信や、圏域に根ざしたプロスポーツ等の共同応援や文化イベントの共同鑑賞等を行う。

事業名	事業費	説明
		まち起こし協議会における取組の推進 189万7千円 “神楽” まち起こし協議会 147万円 オープン型の神楽公演や神楽継承における課題解決のための取組を行う。 “食と酒” まち起こし協議会 42万7千円 圏内の各種イベントにおいて郷土自慢の食や酒の紹介等を行う。 ⑨ 連携中枢都市圏の広域連携サイトの構築 303万2千円 広島広域都市圏の情報発信力の強化を図るため、本市ホームページ内に広域連携サイトを立ち上げる。
⑨ ひろしま里山交流プロジェクトへの参画	417万2千円 財源内訳 〔 国庫補助金 208万6千円 〕 〔 一般財源 208万6千円 〕	広島県内の中山間地域において、多様な人材のネットワークを構築し地域づくりに向けた実践活動の拡大を図るため、中山間地域一円で展開する県民参加型交流イベントの開催に向けた取組を行う。 実施主体 県及び中山間地域を有する19市町等で構成する実行委員会 実施期間 28・29年度 事業費 1億8,650万円（28年度分） （負担区分） 〔 広島県 1億6,150万円 〕 〔 広島市 417万2千円 〕 〔 他市町 2,082万8千円 〕

事業名	事業費	説明
比治山公園「平和の丘」構想の推進	926万3千円 財源内訳 〔 一般財源 926万3千円 〕	比治山公園「平和の丘」構想に基づき、比治山公園再整備の基本的な内容を定める基本計画を策定する。
住宅団地の活性化の推進	2,224万4千円 財源内訳 〔 国庫補助金 1,112万2千円 県補助金 557万2千円 一般財源 555万円 〕	“まるごと元気”住宅団地活性化補助事業 1,114万4千円 町内会・自治会、地区社会福祉協議会等が、自主的・継続的に行う住宅団地の活性化に資する取組を支援する。 住宅団地活性化プランの作成 351万1千円 団地が目指す将来像、課題解決のための取組メニューや取組体制について定めたプランを作成する。 補助率10/10、限度額50万円 空き家等を活用した住民間の交流拠点づくり 350万円 一般住宅の空き家等を活用して、地域活動や地域住民の交流の場となる拠点を作る。 補助率10/10、限度額50万円 地域のコミュニティづくりに資する取組 394万2千円 ①空き地を活用した菜園・花壇づくり ②プラチナ世代・リタイア世代等の地域デビュー支援 ③交流拠点におけるネットスーパー利用の環境づくり ④住民勉強会の開催 ⑤その他住宅団地の活性化に資する地域独自の取組

事業名	事業費	説明																		
		(1事業当たり) <table> <tr> <td></td><td>補助率</td><td>限度額</td></tr> <tr> <td>1年度目</td><td>5/5</td><td>10万円</td></tr> <tr> <td>2年度目</td><td>4/5</td><td>8万円</td></tr> <tr> <td>3年度目</td><td>3/5</td><td>6万円</td></tr> <tr> <td>4年度目</td><td>2/5</td><td>4万円</td></tr> <tr> <td>5年度目</td><td>1/5</td><td>2万円</td></tr> </table> 住民勉強会の開催等 19万1千円 住宅団地における住替え促進モデル事業(再掲) 1,110万円 住宅団地の自治組織が、空き家を活用して子育て世帯の住替えを促進するための取組を行う場合に、空き家のリフォーム費や入居者の家賃の一部を補助する。		補助率	限度額	1年度目	5/5	10万円	2年度目	4/5	8万円	3年度目	3/5	6万円	4年度目	2/5	4万円	5年度目	1/5	2万円
	補助率	限度額																		
1年度目	5/5	10万円																		
2年度目	4/5	8万円																		
3年度目	3/5	6万円																		
4年度目	2/5	4万円																		
5年度目	1/5	2万円																		
三世代同居・近居支援事業	1,201万円 財源内訳 <table> <tr> <td rowspan="2">〔</td><td>国庫補助金</td><td rowspan="2">〕</td></tr> <tr> <td>600万5千円</td></tr> <tr> <td rowspan="2">〔</td><td>県補助金</td><td rowspan="2">〕</td></tr> <tr> <td>600万5千円</td></tr> </table>	〔	国庫補助金	〕	600万5千円	〔	県補助金	〕	600万5千円	子育てや介護などの支え合いを促進するとともに、地域コミュニティの次世代の担い手の確保を図るため、小学生以下の子がいる世帯が、市内に居住する親世帯の近くに住み替える(同居を含む。)場合に、引越し費用等の一部を助成する。 補助率 1/2 限度額 10万円										
〔	国庫補助金		〕																	
	600万5千円																			
〔	県補助金	〕																		
	600万5千円																			

事業名	事業費	説明
似島の活性化	957万3千円 財源内訳 〔 財産運用収入 16万8千円 一般財源 940万5千円 〕	地域住民との連携のもと、似島の魅力や特性を活かした交流活動の促進、公共施設の有効活用など似島の活性化に取り組む。 地域おこし協力隊の配置 709万円 配置人員 2人 任用期間 28年4月～29年3月 (最長30年9月末まで再任用可) 交流拠点施設の管理運営 135万9千円 地域協力活動の実施 112万4千円 活動内容 ①地域住民と連携し、似島の活性化に資する事業を企画・立案・実施 ②似島の魅力発見につながる情報収集・発信 ③来島者のための無料レンタサイクルの貸出し
安佐市民病院跡地活用の検討	54万8千円 財源内訳 〔 一般財源 54万8千円 〕	安佐市民病院移転後の跡地活用を、地域の代表者等で構成する協議会において検討し、28年8月を目途に活用方針案を作成する。

事業名	事業費	説明
公共施設等総合管理計画の策定	229万3千円 財源内訳 [一般財源 229万3千円]	インフラ資産、ハコモノ資産の維持管理・修繕・更新等に関する基本的な考え方を整理し、公共施設全体を総合的かつ計画的に管理していくための計画を策定する。 計画冊子・パンフレットの作成等 87万3千円 シンポジウムの開催 142万円

(市 民 局)

事 業 名	事 業 費	説 明
2020年までの核兵器廃絶 を目指した取組の推進	2,084万9千円 財源内訳 〔 雑入 596万2千円 一般財源 1,488万7千円 〕	N P T再検討会議等国際会議の誘致 15万5千円 2020年に開催されるN P T再検討 会議などの国際会議の広島開催実 現に向け、国との協議を行う。 2020ビジョンキャンペーンの展開 446万3千円 核兵器の人道的影響に関する国 際会議への出席 254万5千円 訪問先 南アフリカ 平和首長会議国内加盟都市会議 総会の開催 137万4千円 時 期 28年11月 場 所 千葉県佐倉市 平和首長会議加盟都市への被爆樹 木の種・苗木の配付及び「平和の 灯」の分火 6万1千円 核兵器禁止条約の交渉開始等を求 める市民署名活動の展開等 48万3千円 ヒロシマ・ナガサキ原爆展の開催 419万2千円 (長崎市との共同事業) 場 所 アメリカ シカゴ市 内 容 原爆写真パネル、被爆資 料の展示、被爆体験証言、 ビデオ上映など 国内原爆展の開催 986万8千円 場 所 船橋市、甲州市、北広島 市、北見市、広川町

事業名	事業費	説明
		三重県における原爆展の開催 217万1千円 伊勢志摩サミットの開催に合わせ、長崎市と共同で、原爆展を開催する。 時期 28年5月 場所 伊勢市
平和意識の醸成	250万4千円 財源内訳 〔 一般財源 250万4千円 〕	折り鶴に託された思いを昇華させるための取組の推進 昇華に取り組む市民や民間団体等への折り鶴の配付 135万1千円 折り鶴の運搬・保管 115万3千円
被爆体験の継承・伝承	8億5,114万6千円 財源内訳 〔 国庫補助金 2億5,000万円 市債 5億460万円 一般財源 9,654万6千円 〕	被爆体験伝承者の養成 286万5千円 被爆体験を次世代に伝えていくため、伝承者を養成する。 被爆体験伝承者による伝承講話の定時開催 355万3千円 3年間の研修を修了した被爆体験伝承者による伝承講話を定時開催する。

事業名	事業費	説明
		平和記念資料館再整備事業 8億4,472万8千円 被爆の実相をより一層分かりやすく伝えるため、常設展示の全面的な更新を行うとともに、開館から60年が経過し老朽化している建物の改修を行う。 本館改修工事 5億1,000万円 本館展示整備等 7,670万3千円 東館構造補強工事 2億5,302万5千円 発掘調査整理業務 500万円 (スケジュール) 27年度 東館改修工事・展示整備等、本館発掘調査 28年度 本館改修工事・展示整備等、東館構造補強工事、発掘調査整理業務 29年度 本館改修工事・展示整備等、渡り廊下拡幅工事 30・31年度 本館改修工事

事業名	事業費	説明
原爆ドーム保存事業等基金の活用による事業展開	6,890万8千円 財源内訳 〔 基金繰入金 6,890万8千円 〕	平和記念資料館観覧料の改定による増収相当額を、原爆ドーム保存事業等基金に積み立て、被爆の実相を守り、広め、伝える事業を充実する。 〔 原爆ドーム保存事業等基金積立金 1億2,800万円 (平和記念資料館観覧料増収相当額) 〕 ⑨ 被爆樹木モニタリング等事業 770万円 樹木医による被爆樹木のモニタリングを行い、診断カルテを作成するとともに、樹勢回復措置を講じる。 平和記念資料館収蔵資料の保存措置の強化 1,535万円 被爆資料の劣化状況の調査を行い、必要な保存措置を講じるとともに、被爆者証言ビデオのデジタル化を行う。 被爆資料の収集の強化 288万5千円 被爆資料の寄贈を呼び掛けるキャンペーンを行うとともに、米国国立公文書館等が所蔵する被爆資料の調査・収集を行う。 ⑨ 被爆建物・被爆樹木めぐり 7万9千円 被爆建物や被爆樹木の見学ツアーを開催し、被爆の実相に触れる機会を提供する。 ⑨ 平和首長会議インターンシップ 540万6千円 海外の平和首長会議加盟都市の若手職員をインターンとして招へいし、平和首長会議事務局の業務に従事してもらう。

事業名	事業費	説明
		⑨ 青少年「平和と交流」支援事業 751万4千円 平和首長会議の国内外の加盟都市の青少年に対し、被爆者の体験や平和への思いなどを学び、交流を深めるために実施している既存の事業への参加を支援する。 平和首長会議国内加盟都市会議に合わせた原爆展の開催 493万1千円 時 期 28年11月 場 所 千葉県佐倉市 平和記念資料館ボランティアスタッフ活動支援事業 292万1千円 平和記念資料館のボランティアスタッフの資質向上・保持を図るための研修を行う。 ⑨ 折り鶴ポストカードによるピースメール事業 910万円 平和記念資料館入館者に対して、ポストカードを配付し、被爆の実相に触れることで感じた平和への思いを記し、館内の郵便ポストに投函してもらう。 被爆体験講話等のオンライン予約システムの構築 302万2千円 電話受付の被爆体験講話等の申込みについて、オンラインでも予約できるよう、システムの構築を行う。 被爆建物の保存支援 1,000万円 被爆建物である水道資料館の保存工事に係る経費の一部を負担する。

事業名	事業費	説明
		〔 民有建物等保存・継承事業への補助 〕 (拡充内容) 8,000万円を限度として全額補助 (28年度は、補助対象なし。) 補助率 3 / 4 → 4 / 4 限度額 3,000万円→8,000万円 (木造建物は現行どおり3,000万円)
国際平和拠点ひろしま構想の推進	187万3千円 財源内訳 〔 一般財源 〕 187万3千円	世界恒久平和の実現に向け、広島県が策定した「国際平和拠点ひろしま構想」を推進する事業を広島県と共同で実施する。 復興・平和構築の研究 172万3千円 研究・教育機関の連携強化 15万円

事業名	事業費	説明						
犯罪や事故の起こりにくい安全なまちづくりの推進	1,352万2千円 財源内訳 〔 一般財源 1,352万2千円 〕	地域防犯カメラ設置補助 1,208万2千円 地域の自主的な防犯活動を補完するため、防犯活動を行っている町内会・自治会、防犯組合等に対し、防犯カメラの設置に要する経費の一部を補助する。 補助率 3／4 限度額 30万円／台 補助台数 40台 ^新 特殊詐欺対策推進事業 144万円 被害の多い高齢者を中心に啓発を行うとともに、特殊詐欺に対する市民意識の向上を図る。						
生涯学習関連施設の機能の充実	1億8,932万3千円 財源内訳 〔 国庫補助金 4,280万6千円 市債 5,750万円 一般財源 8,901万7千円 〕	公民館整備 沼田公民館建替え 1億322万3千円 （沼田出張所、沼田老人いこいの家と合築） （スケジュール） 26・27年度 基本設計、実施設計等 28年度 建設工事等 29年度 建設工事 （債務負担行為の設定） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>期間</th><th>限度額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沼田公民館建替え</td><td>29年度</td><td>11億2,610万円</td></tr> </tbody> </table>	事業名	期間	限度額	沼田公民館建替え	29年度	11億2,610万円
事業名	期間	限度額						
沼田公民館建替え	29年度	11億2,610万円						

事業名	事業費	説明
		公民館福祉環境整備 エレベーター設置 実施設計 藤の木、美鈴が丘 540万円 公民館の耐震化 防災拠点となっている公民館の耐震化対策を行う。 耐震診断 草津、祇園 耐震補強計画策定 中央 （中央老人福祉センターと合築） 970万円 耐震診断 草津、祇園 740万円 耐震補強計画策定 中央 （中央老人福祉センターと合築） 230万円 公民館一般整備 7,100万円

事業名	事業費	説明
都市文化の形成と豊かな文化環境の創造	1億2,777万3千円 財源内訳 〔 国庫補助金 4,210万4千円 負担金 261万円 一般財源 8,305万9千円 〕	個性と魅力ある都市文化の形成 9,454万円 「第16回広島国際アニメーションフェスティバル」の開催等 8,128万1千円 実施主体 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 開催期間 28年8月18～22日 関連事業 ①100日前イベント ②野外上映会 ③市民前夜祭 旧日本銀行広島支店の保存 684万9千円 国の重要文化財の指定に向けて、文化財的価値を高めるための復原工事を実施する。 (スケジュール) 28年度 実施設計 29～31年度 復原工事 ⑨ 毛利氏関連の博物館等施設による連携事業 541万円 広島広域都市圏内にある毛利氏ゆかりの博物館等の施設が連携し、毛利氏関連の史跡マップ等を作成する。 ⑨ 広島城二の丸の活用 100万円 広島城の新たな魅力を創出するため、広島城二の丸において、上田宗箇流の茶会の開催及び茶道具等美術工芸品の展示を行う。

事業名	事業費	説明
		豊かな文化環境の創造 3,323万3千円 広島交響楽団等による花と音楽のイベント 901万7千円 時 期 春・秋・冬の3回 場 所 広島国際会議場 平和のタベコンサート開催 478万2千円 時 期 28年8月5日 場 所 広島国際会議場 威風堂々クラシック in Hiroshimaの開催 368万7千円 主 催 威風堂々クラシック in Hiroshima実行委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 時 期 28年12月24・25日 場 所 市役所市民ロビー、広島市文化交流会館など10か所程度 ひろしま平和発信コンサートの開催支援 600万円 主 催 ピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会 時 期 28年7・8月 場 所 広島市文化交流会館等 負担金 4,200万円 (負担区分) 広島市 (1/7) 600万円 広島県 (4/7) 2,400万円 協賛企業(2/7) 1,200万円

事業名	事業費	説明
		重慶市友好都市提携30周年記念事業 714万円 芸術団の派遣 453万4千円 時 期 28年 8 月 人 員 31人 芸術団の受入れ 260万6千円 時 期 28年10月 人 員 40人 大邱広域市との交流推進事業 260万7千円 芸術団の派遣 171万円 時 期 28年 7 月 人 員 21人 大邱市立交響楽団員の受入れ 89万7千円 時 期 28年 5 月 人 員 7 人
地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興	1億6,310万円 財源内訳 〔 国庫補助金 455万円 〕 市債 1億1,550万円 〔 一般財源 4,305万円 〕	岡田運動広場整備 1億5,400万円 (スケジュール) 28年度 造成工事 29年度 造成工事、実施設計 30年度 施設整備

事業名	事業費	説明
		スポーツセンター等の耐震化 910万円 防災拠点となっているスポーツセンター等の耐震化対策を行う。 耐震診断 西区スポーツセンター、宇品体育館
まちの活力創出に向けたスポーツの振興	2,588万円 財源内訳 〔 国庫補助金 176万9千円 〕 一般財源 2,411万1千円	全国規模のスポーツ大会等の誘致と大会会場等受入体制の検討 368万円 東京オリンピック・パラリンピック事前合宿等誘致活動 311万8千円 文化プログラムの検討 42万1千円 東京オリンピック・パラリンピックを契機に、文化庁が進める文化プログラムの実施に向けた取組に対応するため、スポーツと平和に関する国際会議などの検討を行う。 専用競技施設の調査・研究 14万1千円 専用競技施設のあり方について、他都市の施設の状況調査や、競技団体等との意見交換を行う。 スポーツ大会開催補助 2,220万円 天皇盃第22回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 900万円 第21回ヒロシマ国際ハンドボール大会 450万円 第50回織田幹雄記念国際陸上競技大会 290万円

事業名	事業費	説明
		第36回ひろしま国際平和マラソン 320万円 第21回アジアカップひろしま国際ソフトテニス大会 160万円 アジアトライアスロン選手権 100万円
地域コミュニティ活動の振興	1億400万円 財源内訳 〔 一般財源 1億400万円 〕	集会所整備 集会所福祉環境整備 1,100万円 便所改修等 集会所一般整備 6,300万円 集会施設整備費補助 3,000万円 補助率 1 / 2 限度額 新築・購入 500万円 増築・改修等 270万円
男女共同参画社会の形成	627万2千円 財源内訳 〔 国庫委託金 276万7千円 〕 県委託金 153万1千円 〔 一般財源 197万4千円 〕	男女共同参画普及啓発事業 202万2千円 男女共同参画推進事業所の顕彰 15万2千円 事業所等向け男女共同参画支援講座の開催 8万4千円 男女共同参画情報誌の作成等 69万4千円 小中学生向け男女共同参画啓発用冊子の作成 109万2千円

事業名	事業費	説明
		D V 防止・被害者支援対策 233万6千円 民間シェルターの支援 120万円 D V 防止啓発リーフレットの作成等 113万6千円 ^新 働く女性・若者のための就労環境整備の推進 191万4千円 女性や若者が働きやすい、働きがいのある就労環境の整備を推進するため、中小企業に対して意識啓発を図る。 シンポジウムの開催 144万4千円 会場 広島サンプラザ 内容 基調講演、パネルディスカッション 業種組合等の単位での研修会の実施 47万円

事業名	事業費	説明
国際交流・国際協力の推進等	1,254万7千円 財源内訳 [一般財源 1,254万7千円]	重慶市友好都市提携30周年記念事業 509万6千円 代表団の派遣 173万7千円 時 期 28年8月 人 員 5人 代表団の受入れ等 335万9千円 時 期 28年10月 人 員 30人 大邱広域市との交流推進事業 45万1千円 代表団の派遣 時 期 28年7月 人 員 2人 国連訓練調査研究所（ユニタール）の 研修プロジェクトに対する支援 700万円 ユニタールが広島で開催する「平和構築に向けた核軍縮不拡散のためのワークショップ」に要する経費の一部を補助する。

事業名		事業費	説明	明
市民と区役所の協働まちづくりプログラム		1億966万3千円 (一部再掲) 財源内訳 〔 一般財源 1億966万3千円 〕	区の魅力と活力向上推進事業 区役所が、市政車座談義や区長と住民との対話等を踏まえ、企画・立案力を十分に発揮し、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動を効果的に支援することによって、魅力と活力のあるまちづくりを推進する。 住民主体のまちづくり活動への支援	1億円 7,171万4千円
【28年度実施事業】				
区	事業名		事業費	
中区	地域力を高めるまちづくり	地域コミュニティの強化	24万2千円	
		基町住宅地区の活性化	351万6千円	
	にぎわいのあるまちづくり	まちなかにぎわいづくり事業	17万9千円	
		まちづくりワークショップの開催	13万7千円	
	ふれあいのあるまちづくり	花づくり活動の支援 (ボランティア花壇づくり事業)	156万3千円	
	地域の魅力を活用したまちづくり	砂持加勢まつりの開催	113万4千円	
		城下町広島ぶらりプロジェクト	134万6千円	
		ひろしま西国街道巡り (新規)	101万8千円	
	安心・安全なまちづくり	大雨浸水対策の推進	35万円	
	計		948万5千円	
東区	もてなしのまちづくり	「東区もてなしの場」の創出	301万7千円	
		花のある街並みの形成	118万2千円	
	地域資源を生かしたにぎわいづくり	二葉の里歴史の散歩道のブラッシュアップ	152万7千円	
		緑と水に親しむ環境づくりの推進事業	71万2千円	
		大学との地域連携によるまちづくり	21万5千円	
	みんなで支え合う地域づくり	未来の大人をはぐくむまちづくり	110万3千円	
		市民の健康づくり	65万円	
		認知症高齢者支援体制の整備事業	58万円	
		地域コミュニティの再生	77万9千円	
	計		976万5千円	

事業名		事業費	説明
区	事業名		事業費
南区	みなとのにぎわいづくり	海を介した隣町つきあい	84万1千円
		宇品のにぎわいづくり	85万5千円
		似島の魅力づくり	170万4千円
		アース・ミュージアム元宇品の魅力づくり	72万3千円
	地域の宝づくり	地域資源の発掘(美奈美国風土記)	31万5千円
		地域資源の活用(南区百物語)	245万円
		みなみ区魅力発信	59万4千円
	ふれあいともてなしのまちづくり	旧国鉄宇品線跡地の活用	133万円
		みなみ区自転車さんぽ	19万円
		みなみ区花いっぱい	59万2千円
		安全・安心なまちづくり(新規)	30万円
	計		989万4千円
西区	地域資源を活用したまちづくり	三滝の自然や歴史の活用	46万7千円
		西区やまなみハイキングルート of 活用	99万1千円
		西国街道沿線の歴史・文化の活用	42万3千円
		子ども神楽の継承支援	26万7千円
		地域資源等の情報発信(新規)	51万4千円
	にぎわいのあるまちづくり	水辺環境施設の活用	77万2千円
		出会いと交流の推進	171万2千円
		花を活用した「もてなしの場づくり」の推進	188万円
	元気アップをめざしたまちづくり	環境保全意識の向上促進	70万5千円
		夢はぐくむのびのび子育て	27万円
	住民が活動しやすいまちづくり	資金確保の場の提供	9万8千円
		まちづくりアイデア等の募集・活用	148万1千円
		まちづくり見学会の開催(新規)	48万7千円
	計		1,006万7千円

事業名		事業費	説明	明
区	事業名		事業費	
安佐南区	地域への愛着と誇りが持てるまち	魅力的なまちの顔づくり事業	73万6千円	
		安佐南マイタウンレポーター事業	5万7千円	
		ふるさと安佐南区再発見事業	29万3千円	
	人と人のつながりを大切にするまち	NPOと地域の連携	2万円	
		安佐南区民交流駅伝大会	65万円	
		安佐南区花いっぱい運動	106万6千円	
		めざせ子育てほっとタウンあさみなみ	36万1千円	
		安佐南さわやかあいさつ運動	47万6千円	
	土と緑に親しみ、自然の恵みと環境を大切にするまち	ルート77グリーン街道推進事業	199万4千円	
		ボランティアによる権現山憩の森整備事業	63万円	
	地域と大学の交流と連携により、元気あふれるまち	大学と地域の連携	26万6千円	
		あさみなみ区民大学の運営	36万3千円	
		あさみなみ地学地就支援事業	28万9千円	
	計		720万1千円	
安佐北区	ふるさとの自然発見	可部連山トレイルランinあさきたの開催	180万5千円	
		あさきた里山マスター制度の運用	133万3千円	
	ふるさとの歴史・文化発見	あさきた神楽発表会の開催	93万7千円	
		郷土芸能等体験会の開催	12万6千円	
	まちなか元気づくり	高陽地区のにぎわい創出	97万9千円	
	地域のきずなづくり	あさきた元気フェスタの開催	41万6千円	
		冒険の遊び場の整備	31万9千円	
		安佐北区花のまちづくりの推進	52万6千円	
	実りの里づくり	実りの里づくりの展開	181万7千円	
	災害に強いコミュニティづくり	災害に強いコミュニティ“あさきた”をつくろう（新規）	30万円	
計		855万8千円		

事業名		事業費	説明	明
区	事業名		事業費	
安芸区	地域のきずなづくり	花と笑顔が広がるまち・安芸区	65万1千円	
		となり町との出会いと交流づくり	131万1千円	
	みんなでつくる元気なまち	里山あーと村ふるさと起こし	219万円	
		阿戸地区活性化事業	222万1千円	
		矢野にぎわいづくり	57万7千円	
	自然にふれるやすらぎの空間づくり	絵下山お宝の山づくり	100万4千円	
	ふるさとの魅力活用	ぶらりふるさと魅力再発見	90万4千円	
	計		885万8千円	
	佐伯区	地域資源を生かしたまちづくり	湯の山温泉・旧湯治場の利活用の促進	38万6千円
地域力を高めるまちづくり		住宅団地の活性化	56万円	
		中山間地域での集落の活性化	60万8千円	
		町内会の加入促進	41万6千円	
		湯来地区の活性化	23万4千円	
		区民主体のまちづくりの推進	33万3千円	
人が集い交流するまちづくり		区の木、区の花でまちづくり	112万5千円	
		さえきフラワー・プロジェクト	50万1千円	
		アートフェスタ佐伯区	75万円	
		五日市駅自由通路の活性化	6万円	
		おもてなしの花づくり	62万7千円	
		佐伯区の観光振興	25万2千円	
		近隣市町との連携によるまちづくり(新規)	24万7千円	
		大型クルーズ客船の寄港を生かしたまちづくり(新規)	178万7千円	
計		788万6千円		

事業名	事業費	説明																								
		区の魅力と活力向上推進事業補助 2,828万6千円 <table> <tr> <td></td><td>補助率</td><td>限度額</td></tr> <tr> <td>1年度目</td><td>2／3</td><td>100万円</td></tr> <tr> <td>2年度目</td><td>1／2</td><td>70万円</td></tr> <tr> <td>3年度目</td><td>1／3</td><td>35万円</td></tr> </table> 「まちづくり支援センター」の運営 230万7千円 まちづくり活動に対する相談や助言などを行う。 商店街振興事業補助（再掲） 735万6千円 商店街活性化事業費補助 区役所と連携しながら、3年以上継続的に実施する事業に対し、補助を行う。 <table> <tr> <td></td><td>補助率</td><td>限度額</td></tr> <tr> <td>1年度目</td><td>2／3</td><td>70万円</td></tr> <tr> <td>2年度目</td><td>1／2</td><td>50万円</td></tr> <tr> <td>3年度目</td><td>1／3</td><td>30万円</td></tr> </table>		補助率	限度額	1年度目	2／3	100万円	2年度目	1／2	70万円	3年度目	1／3	35万円		補助率	限度額	1年度目	2／3	70万円	2年度目	1／2	50万円	3年度目	1／3	30万円
	補助率	限度額																								
1年度目	2／3	100万円																								
2年度目	1／2	70万円																								
3年度目	1／3	35万円																								
	補助率	限度額																								
1年度目	2／3	70万円																								
2年度目	1／2	50万円																								
3年度目	1／3	30万円																								